

<別紙> コバス 8000 c702・c502・e801 モジュール 冷却ユニットの性能劣化に関わる温度制御異常アラーム

アラームコード(c702)

28-1 反応槽水温異常(注意)

内容 反応槽の水温が 40.0℃より高くなりました。

処置 装置の前カバーを開けて、放熱器フィルターのほこりなどを取り除いてください。
装置背面カバー部のファンのほこりなどを取り除いてください。

28-2 反応槽水温異常(注意)

内容 反応槽の水温が(37±0.5℃)の範囲外です。

処置 室温が 15～32℃であることを確認してください。
装置の前カバーを開けて、放熱器フィルターのほこりなどを取り除いてください。
装置背面カバー部のファンのほこりなどを取り除いてください。
再発する場合には、担当のサービス部門に連絡してください。

39-1 試薬ディスク A 温度異常(注意)

内容 試薬ディスク A で温度異常を検出しました。

処置 試薬ディスクカバー A を点検してください。
室温が 18～32℃であることを確認してください。
装置の前カバーを開けて、フィルターのほこりなどを取り除いてください。
再発する場合には、担当のサービス部門に連絡してください。

39-2 試薬ディスク B 温度異常(注意)

内容 試薬ディスク B で温度異常を検出しました。

処置 試薬ディスクカバー B を点検してください。
室温が 18～32℃であることを確認してください。
装置の前カバーを開けて、フィルターのほこりなどを取り除いてください。
再発する場合には、担当のサービス部門に連絡してください。

113-9 温度制御異常(注意)

内容 冷却能力が不足しています。

処置 室温が 18～32℃であることを確認してください。
[ユーティリティ]>[メンテナンス]で、反応槽水交換を実行してください。
装置の再起動を行ってください。
再発する場合には、担当のサービス部門に連絡してください。

114-xx 温度制御異常(注意)

内容 以下のいずれかが発生しました。

- 自己診断異常 (ROM/RAM) が発生しました。
- ADC 異常が発生しました。
- 温度異常が発生しました。
- コマンド異常が発生しました。

処置 [ユーティリティ]ジョブの[メンテナンス]画面で、《リセット》を実行してください。
アラームが再発する場合は、担当のサービス部門に連絡してください。

アラームコード(c502)

36-1 保冷库温度異常(注意)

内容 保冷库の冷気温度が範囲外です。

処置 以下の点を確認してください。

- 試薬ディスクシャッターが開いていないか確認してください。
- 装置の前面カバーを開けて、放熱器フィルターのほこりなどを取り除いてください。
- アラームが発生し続ける場合には、担当のサービス部門に連絡してください。

アラームコード(e801)

112-1 冷却ユニット(ストップ)

内容 冷却ユニットが電源オフです。

本ユニットの温度制御が停止されました。

処置 [ユーティリティ]ジョブの[メンテナンス]画面で、《リセット》を実行してください。
装置を再起動してください。
アラームが再発する場合は、担当のサービス部門に連絡してください。

115-1 冷却ユニット(注意)

内容 センサが冷却水タンク内レベルの異常を検出しました。

本ユニットの温度制御は停止されました。

処置 アラームが再発する場合は、担当のサービス部門に連絡してください。

115-2 冷却ユニット(P.ストップ)

内容 センサが冷却水タンク内レベルの異常を検出しました。

本ユニットの温度制御は停止されました。

処置 アラームが再発する場合は、担当のサービス部門に連絡してください。

115-3 冷却ユニット(ストップ)

内容 センサが冷却水タンク内レベルの異常を検出しました。

本ユニットの温度制御は停止されました。

処置 アラームが再発する場合は、担当のサービス部門に連絡してください。